

9. 新型コロナウイルス 5 類感染症移行後の夏祭り開催

介護老人保健施設 吹田徳洲苑
理学療法士 野原盛史（のはら たけし）

【はじめに】

当施設では新型コロナウイルス感染症流行まで年間行事として夏祭りやクリスマス会など、施設外との交流を伴う行事を実施してきた。令和 2 年以降は感染対策のため行事の自粛または規模の縮小を行ってきたが、今回新型コロナウイルス 5 類感染症移行に伴い夏祭りを再開する意見が出た。一方で介護施設の特性上クラスターに対する注意はより厳重であるべきとの声も多く苑内感染対策委員会での会議を重ね十分に感染対策を行ったうえで開催することに至ったので報告する。

【実施方法】

概要：老健入所者を対象とした夏祭りイベントの開催

場所：吹田徳洲苑リハビリ室・通所リハビリ室

日時：2023 年 8 月 20 日(日) 9:30-15:00

参加者：施設入所中の利用者 136 名、施設スタッフ 59 名、学生ボランティア 6 名

対策 1：開催スタイル

従来の全員を一同に集めて行う開催方式を変更し、3 つある療養棟ごとに利用時間を分けて会場へ誘導した。療養棟ごとにそれぞれ利用者に精通したスタッフが誘導することで利用者間違いや事故なく夏祭りに参加してもらうことができた。また食形態に応じた食品屋台への誘導を行い、食事介助が必要な方に適切な介助を行うことができた。また少人数での利用となったことで食事の見守りを十分に行うことができた。

対策 2：感染予防対策

従来の夏祭りには利用者家族や近隣の一般参加も募っていたが、感染防止のため対象を入所中の利用者のみに限定し、学生ボランティアには当日朝に抗原検査を実施し、陰性確認後に参加いただいた。また会場の利用者が入れ替わる度に座席やテーブルの消毒を行い、夏祭りへの参加時間も制限して交代制で参加していただいた。

【結果】

1) 行事の再開に伴い施設スタッフからは「数年ぶりに利用者が満足する行事ができた」「準備は大変だったが再開してよかった」という意見が出た。数多くの利用者からは「気分転換になって楽しかった」「普段食べられないものが食べられてよかった」との感想があった。従来の夏祭りでは盆踊りやショーなどの催しを行っていたが、会場の装飾や屋台での飲食のみでも夏祭りの雰囲気十分に味わっている様子であった。

2) 会場での家族との交流は今回行うことはできなかったが、当日の様子を撮影し、家族に共有することで、普段面会に来ることができない家族にも、利用者の喜ばれている様子を見てもうることができた。

3) なお感染者の発生なく安全に終了した。

【まとめ】

今回、感染対策を十分に行ったうえで従来の夏祭りのスタイルを変え 4 年ぶりに感染者の発生なく再開することができた。施設利用者に満足いただく夏祭りとしては十分なものと思われた。